



第34号 令和2年9月発行

社会福祉法人財団法人 宮城県済生会

宮城県済生乳児院

仙台市宮城野区東仙台 6 丁目 1-1

TEL 022[299]0825

<https://miyagi-saiseikai.com/nyujiin/>

ご挨拶



宮城県済生会乳児院長 遠藤清之

8月は、日々猛暑が続いておりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

先日、甲子園での高校野球交流大会が無事終了しました。春の甲子園大会と夏の風物詩とも言える夏の大会が中止となり、高校球児への野球をさせてあげたいという思いのもと交流大会という試みの大会を開催しました。高校生たちは懸命に舞台に立ち、素晴らしい思い出とともに「感謝」の気持ちを存分に表現しておりました。また、一方で関係者のご努力と神経の使いようは並大抵のことではなかったことと思います。

新型コロナウイルス感染防止のために、「史上初」、「歴史上はじめての対応」といった言葉が聞かれました。我々も含めて、得体のしれないウイルスとの戦いに、新たな発想のもとに対応しなければならぬことが増えてきております。これまでは、長い年月をかけてつくられた道を平穩に歩いていたものが、この半年の間に、これまでのやり方では通用しない、ルール(歴史・道筋)が途切れてしまったような感覚になっておられる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

新たな道筋を創るためには、自分の経験だけに頼って判断していたのでは限界があります。何が正しいのか、我々がやるべき本質を忘れずに、歴史や社会から最善の方向性を見つけ出すような、より柔軟な対応が必要になってきていると思います。

一人ひとりがこれまでのやり方に固執せず、臨機応変により良い答えを求め、努力を続ける時代になってきています。

I 理念

済生会創設の精神のもとに、児童を取り巻く社会情勢の変化に柔軟に対応し、子どもが大人に守られ、大切にされ、安心して生活できる開かれた安全な養育環境を整え、入所児童の生命と人権を守り、健やかな成長を支援する。

II 基本方針

【保育目標】素直で、明るく、優しい、健康な子の育成

- ・子どもの個性を尊重し、その人権を守り、最善の利益を追求します。
- ・子どもの発達段階に応じた生活習慣等の確立を支援します。
- ・子どもとの愛着関係を育み、豊かな感性を育てます。
- ・子どもの気持ちをくみ取り、また意見を聞きながら自立を支援します。
- ・子どもの成長を喜び、再出発(家族再統合、里親養育等)を支援します。
- ・職員は、子どもとの関係性を常に重視し、向上心、探求心を持ち、柔軟に子どもたちを支援します。



たなばたさま



星がたくさんのお子様ランチ！



7月7日の七夕の日。1年に1度だけ織姫と彦星が会う事の出来る日。

天気はあいにくの雨でしたが乳児院には七夕の行事を楽しむ子どもたちの声が響いていました。

浴衣や甚平に着替えを済ませ、ホールで七夕さまを歌い、暗い部屋でブラックパネルシアターを見ました。その後は、自分の顔が付いている星を天の川に見立てたビニールに貼り、可愛い顔が沢山の天の川を完成させ、笑顔のあふれる1日となりました。

祭 夏まつり



暑いが続いていますが、子ども達は暑さに負けず毎日元気に遊んでいます。そんな中、乳児院では先日夏祭りが行われました。特にお菓子すくい、かき氷&アイス屋さん、おばけやしきが盛り上がり、リピーター続出でした！楽しんだ後は子ども達のお待ちかねのビュッフェ！好きな物を選び、沢山食べ、大満足な子どもたちでした。今年は例年と異なる事が様々あり、思うように遊べない事が多々ありますが、子ども達の賑やかな声と笑顔が見られ、職員一同、嬉しい気持ちになりました。



ありがとうございました!



インテック様より非接触で体温が測定できるサーマルカメラを寄贈して頂きました。マスクをしたまま検温ができ、今後の感染予防に活用させていただきます。



フレーベル社様よりアンパンマンを始めとした沢山の絵本の寄贈をして頂きました。子ども達は大好きなアンパンマンや真新しい絵本に興味津々です!

その他ひかり薬局様からベビーフード、ガイヤ宮千代店様からお菓子など寄贈頂きました。子ども達で美味しくいただきました。ありがとうございます!

～編集後記～

まだまだコロナウイルスが落ち着かず、院外へ遊びに出掛ける機会が減ってしまいましたが、七夕・夏祭り・水遊びと子ども達は元気いっぱい夏の行事を満喫しました。もうすぐ食欲の秋! いっぱい食べて寒くなっても元気に過ごそうね!! 次号もお楽しみに～!